

- 〈展覧会紹介〉 特別企画展「特別公開 東叡山寛永寺根本中堂天井絵奉納記念  
手塚雄二 雲は龍に従う ～上野から龍がやってくる～」 [2]  
「再興第108回院展」 [3]  
〈展覧会紹介〉 特別企画展「古代エジプト美術館展」  
〈イベント報告〉コレクション展「北陸新幹線福井・敦賀開業記念  
福井県立美術館名品展／特集 源氏物語展」 [4～5]  
〈イベント報告〉特別企画展「北陸新幹線福井・敦賀開業記念 横山大観展」 [6～7]  
秋の展覧会のお知らせ [8]  
café de musée PAPOTER 特別メニューのお知らせ  
休館日のお知らせ

表紙：手塚雄二 「東叡山寛永寺根本中堂奉納天井絵《観嶽双龍》」（部分）2023年





手塚雄二「東叡山寛永寺根本中堂奉納天井絵《叡嶽双龍》」

寛永寺創建400周年記念として、福井県立美術館特別館長・手塚雄二が描いた6m×12mの巨大な天井絵「東叡山寛永寺根本中堂奉納天井絵《叡嶽双龍》」を奉納に先駆け披露します。奉納前の姿を見られるのは全国で4館のみ。この機会を逃せば二度と外へ出ることはない大変貴重な作品を福井で特別に公開します。

《素材へのこだわり》 四百年の時を経た天井板に、直接墨で描いています。四種類の古墨（明時代の程君房・方千魯・國寶、乾隆年製の功臣封寿銘）に古硯（紫端溪）を使用しています\*。下地の白には田原白土、宝珠には白土の上に水晶末、金箔、金泥、プラチナ泥…。数百年先の作品の姿も目撃した上で、最高の素材と道具が用いられています。  
※双龍のうち、阿龍の下書きに程君房、吽龍の下書きに方千魯、仕上げに國寶を使用。功臣封寿銘は地の色に使用。

《龍の姿》 絡み合う阿吽の双龍。これまで描かれてきた龍は雲に隠れたものが多い中、一切隠すことなく龍の全身を描いています。さらに身体は生物として破綻のないよう計算されており、伝説の生き物でありながら一切の妥協もされていません。

《龍の手》 龍の手にも注目すべきところ沢山あります。まず第一に爪の本数です。伝統的に五爪の龍は中国皇帝のみに許されたものですが、今回はご要望を受け五本にしたとのこと。次に注目したいのは手のひら。吽龍は左手に宝珠を持ち、阿龍は薬師如来の梵字「へい」を入れています。寛永寺根本中堂に安置される秘仏本尊が「薬師瑠璃光如来」であることから、ラピスラズリが使用されています。

【主催】福井県立美術館、日本経済新聞社 【特別協力】東叡山寛永寺 【後援】台東区、福井新聞社、FBC、福井テレビ、FM福井、福井ケーブルテレビ、さかいケーブルテレビ、こしの都ネットワーク株式会社、月刊URALA

2024年 6/21(金)~7/7(日) 会期中無休

【開館時間】午前9時~午後5時(入館は午後4時30分まで) ※6/21日(金)は午前10時~ 【観覧料】一般1,200円、高校生800円、中小生500円



手塚雄二「双樹」

福井ゆかりの岡倉天心による日本美術院、その理念を受け継いだ横山大観らによる再興日本美術院は、美術研究団体として100年以上、日本画壇を牽引しています。福井では3年ぶりの開催となる「院展」。同人の新作、受賞作品、福井県をはじめとした北陸在住・出身の入選作など最高峰の日本画61点をご紹介します。

【主催】福井県立美術館、日本美術院 【後援】福井新聞社、NHK福井放送局、FBC、福井テレビ、FM福井、福井ケーブルテレビ、さかいケーブルテレビ、こしの都ネットワーク株式会社、月刊URALA

展覧会の詳細はこちら



手塚雄二  
雲は龍に従う  
上野から龍がやってくる

《特別公開》東叡山寛永寺根本中堂天井絵奉納記念

二展同時開催！

再興第108回  
院展  
日本画の頂をのぞむ



《ミイラマスク》プトレマイオス朝時代



《ウラエウス厨子装飾》新王国時代・第18王朝

古代エジプト  
3000年の  
歴史の扉が今、  
ひらく

The Ancient Egyptian Museum Exhibition

# 古代エジプト 美術館展

2024年 7/20(土)~9/1(日) 会期中無休

【会場】福井県立美術館

【開館時間】午前9時~午後5時(入館は午後4時30分まで) ※7月20日(土)は午前10時~

【観覧料】一般1,500円(前売り・団体1,200円)、ペアチケット2,200円(前売りのみ)、

高校生 1,000円(団体800円)、小・中学生 700円(団体550円)

※団体は20名以上。※高校生の方は生徒手帳の提示が必要です。

※障がい者手帳等をお持ちの方とその付添の方1名は半額。※未就学児は無料。

※混雑等のため、入場制限を行う場合や中止になる場合があります。

〈前売券販売〉6月20日(木)~7月19日(金)

[コンビニ端末]チケットぴあ(Pコード:686-939)、ローソン(Lコード:53782)

主催/古代エジプト美術館展 福井実行委員会(福井県立美術館、福井新聞社、福井テレビ)、

古代エジプト美術館 渋谷 監修/ロバート・スティューヴン・ピアンキ(古代エジプト美術館 渋谷 主任学芸員)

学術協力/近藤二郎(早稲田大学 名誉教授)、大城道則(駒澤大学 教授)

協力/駒澤大学、FARO、関西大学 後援/エジプト大使館

◎関連イベント

「見どころ解説会」

会期中土曜日 午前10時30分~約20分 講師/西村直樹(福井県立美術館 副館長(学芸))

〈当館講堂〉参加無料 事前申込不要(当日直接会場へ/先着40名)

※7月20日(土)はイベント準備等のため、開催されません。※上記開催日以外にも追加開催する場合があります。※詳細はHPをご覧ください。

「ギャラリートーク」

7月20日(土) 午後2時~午後3時 講師/菊川匡(古代エジプト美術館 渋谷 ファウンダー)

〈当館展示室〉参加無料(展覧会観覧券の提示が必要です) 事前申込不要(当日直接会場へ)

消しゴムはんこを捺してつくる「古代エジプトminiカード」

7月27日(土) 午前11時~午後5時、8月17日(土) 午前11時~午後5時

講師/川治伴江(こどものかおグローバルstamp'nマイスター協会 マイスター)

〈当館展示室〉参加無料(展覧会観覧券の提示が必要です) 事前申込不要(当日直接会場へ)

古代エジプト発祥のベリーダンスを見よう!踊ろう!

「魅惑のベリーダンスショー&体験会」

7月28日(日) 午前11時~約1時間、8月18日(日) 午前11時~約1時間

講師/Saara(オリエンタルダンサー)、他

〈当館展示室〉参加無料(展覧会観覧券の提示が必要です)

事前申込不要(当日直接会場へ/先着40名)



※混雑等のため、入場制限を行う場合や中止になる場合があります。※その他の関連イベント等については、HPをご覧ください。

# 福井県立美術館 北陸新幹線福井・敦賀開業記念 名品展

2024  
3/16<sup>土</sup>  
～  
4/14<sup>日</sup>

北荘画会／北美文化協会／1960年代以降の北美／小コレクター運動／  
現代美術／版画・写真／彫刻

西村副館長

約60年間にわたって活動し、地方における特異な美術運動のひとつとしての評価が定着している「北荘（北荘画会）・北美（北美文化協会）」活動場所を拡大し、新たな表現領域へと移行していった「1960年代以降の北美」。創造美術協会福井支部のメンバーたちが、瑛九、鬘嘯、池田満寿夫等デビュー前の作家たちを支援するかたちで進められた「小コレクター運動」を紹介。国際的な舞台で高い評価を得た小野忠弘や宇佐美圭司等の「現代美術」作品、北川健次や戸田正寿等の「版画・写真」作品、高田博厚、雨田光平、内藤亮雄等の「彫刻」作品等、それぞれのジャンルで福井に関係する重要作家の作品を展示しました。

西洋版画／日本近代洋画

西川学芸員

西洋版画からは、オノレ・ドミエやパブロ・ピカソなど19世紀～20世紀に活躍した画家を中心に、多様な版画技法によって表現された作品をご覧ください。

さらに、日本近代洋画では、福井県ゆかりの洋画家鈴木千久馬、日本のシュルレアリスムの草分けのひとりである小牧源太郎、メキシコで学んだ北川民次を取り上げ、当館コレクションの名品の一部を紹介しました。

岡倉天心と福井／福井の画人

原田学芸員

近代日本画からは、福井藩出身の父母を持つ岡倉覚三（天心）（1863～1913）の関連作品を展示しました。岡倉と共に明治の日本美術をけん引した狩野芳崖（1828～1888）をはじめ、芳崖の弟子で岡倉の甥・岡倉秋水（1869～1950）らの作品によって、動乱の明治時代に大きく変化していった日本画の様相をご覧ください。

また、福井出身の画家たちの作品を南画から戦後の美術まで紹介し、東京、京都それぞれにおける幅広い活躍を展覧しました。

中・近世の美術 ～絵画を中心に～／近世の美術 ～工芸を中心に～

田中学芸員

中・近世の美術からは、岩佐又兵衛をはじめに、若狭に縁あるとされる芸愛、越前朝倉氏に代々仕えた曾我派の絵師による作品を展示。福井に取材した浮世絵などもご紹介しました。

近世の美術からは、刀剣・刀装具・貨幣・仏像・装身具・喫煙具など金工を中心とした「岡島コレクション」より、選りすぐりの小さくて美しいものを並べました。また「幻の壺」とも言われた野村仁清「色絵牛図茶壺」もご覧ください。

《関連イベント》

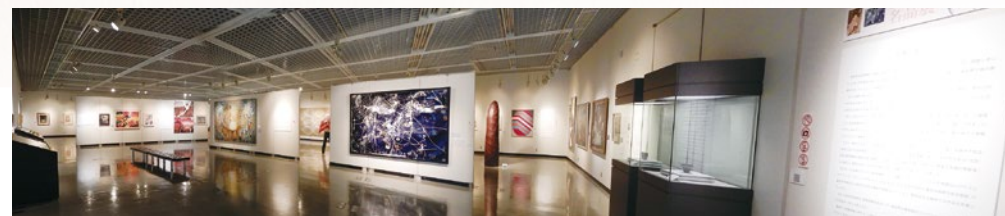
●学芸員によるリレーギャラリートーク

〔日 時〕3月23日(土)、4月6日(土) 各日午後2時～

〔場 所〕福井県立美術館 第1・3・4展示室

〔講 師〕西村直樹（当館副館長（学芸））、西川奈津美（当館主査）、原田礼帆（当館主査）、田中亜季（当館学芸員）

〔参加人数〕40人



同時開催  
特集  
源氏物語

2024 3/16<sup>土</sup>～4/14<sup>日</sup>

『源氏物語』の作者・紫式部は、長徳2(996)年、父の藤原為時が越前守に任じられたことにより、父と共に越前へ下向、およそ2年ほどの歳月を過ごしました。式部にとって都以外に唯一居住した場所であり、その遠さも忘れ難い経験だったのでしょう、『源氏物語』の中にも「たけふ」の地名が効果的に使われています。北陸新幹線の開通とNHK大河ドラマ主人公に紫式部が選ばれた記念すべき年に、当館所蔵の『源氏物語』関連作品を一挙公開しました。紫式部による王朝の雅さと、絵師たちによってあらわされた物語の華やかな世界。両者の美の共演をお楽しみいただきました。

《関連イベント》

●美術館学芸員トークサロン

テーマ

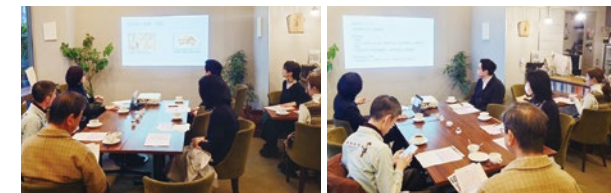
「源氏物語×絵師～源氏絵の見分けを中心に～」

〔日 時〕2月25日(日) 午後5時30分～6時30分

〔場 所〕美術館喫茶室ニホ

〔講 師〕田中亜季（当館学芸員）

〔参加人数〕5人



大河ドラマ「光る君へ」の世界を360度映像で体験!

●VRドームシアター  
～大河ドラマ「光る君へ」～

〔日 時〕3月30日(土)、31日(日)

各日午前9時～午後5時

〔場 所〕福井県立美術館

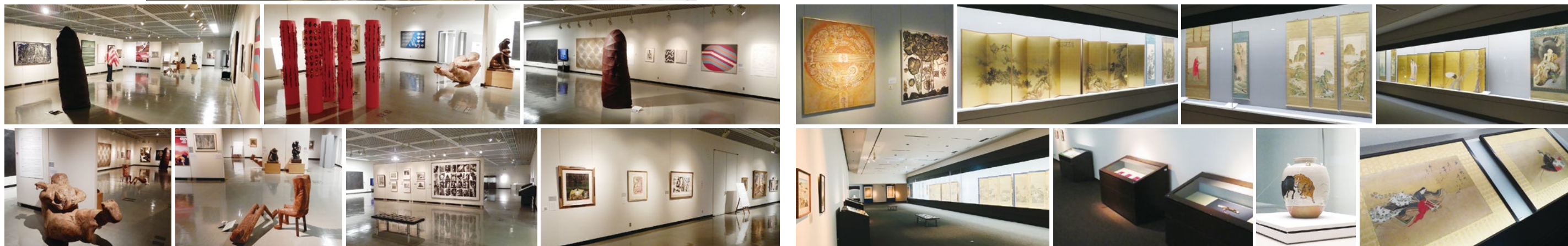
1階ギャラリー

〔主 催〕NHK福井放送局

〔共 催〕福井県立美術館

〔参加人数〕296人、235人

(計531人)



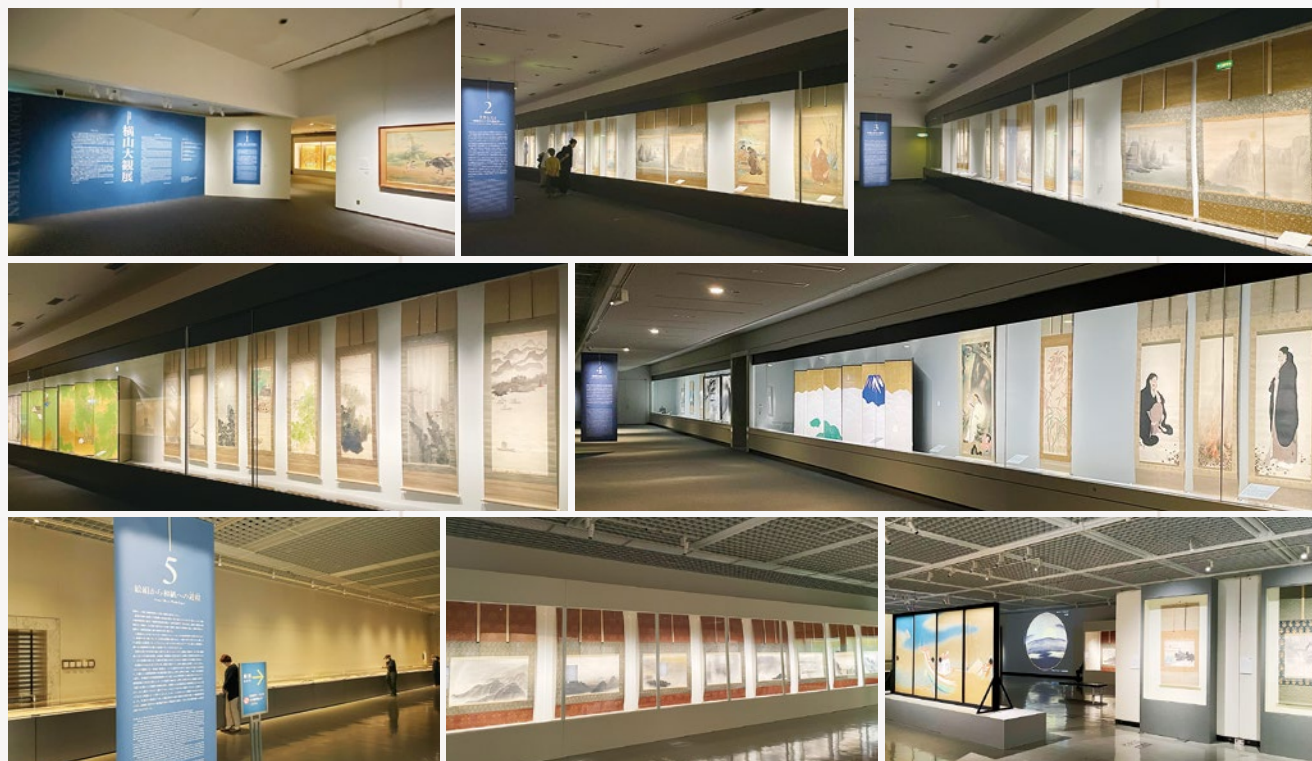
# 大観展

横山 大観 2024 4 26 金 6 2 日

北陸新幹線福井・敦賀開業記念

【主催】福井県立美術館

【後援】福井県市町教育委員会、福井新聞社、NHK福井放送局、FBC、福井テレビ、FM福井、福井ケーブルテレビ、さかいケーブルテレビ、こしの都ネットワーク株式会社、月刊URALA



2024年春の北陸新幹線福井・敦賀開業を記念し、開催された本展では、巨匠・大観がいかにして生まれたか、その発想の斬新さや、あくなき挑戦について紹介しました。重要文化財の《瀟湘八景》（東京国立博物館）、《生々流転》（東京国立近代美術館）や、日本美術史で記念碑的な作品ともいえる《屈原》（厳島神社）など初期から晩年までの代表作から展望するほか、越前紙漉き職人・岩野平三郎との密接なやりとりのなか国産の和紙を積極的に使い、日本画壇に絵絹から和紙への大きな変革をもたらした功績を岩野平三郎家旧蔵の豊富な資料や、実際の作品からあきらかにしました。会期中は11,144人の大観、そして日本画ファンにご来場いただきました。本展開催にあたり、ご所蔵者様はじめ、関係の皆様方のご協力を頂きましたこと、改めてお礼申し上げます。

会期中開催されたイベントは下記のとおりです。大観研究の一助となる新知見の情報も披露され、それらは本年度発行の研究紀要にて収録、HP上で広く公開する予定です。



## 《関連イベント》

### ●横山浩一氏×手塚雄二特別館長トークセッション ～家族と作家の目から見た《生々流転》～

【日 時】4月26日(金) 午後1時半～2時15分

【場 所】講堂

【登壇者】横山浩一氏（横山大観記念館代表理事・館長）  
手塚雄二（当館特別館長・日本美術院同人・業務執行理事）

【司 会】佐々木美帆（当館主任）

【参加人数】60人

大観の代表作であり、日本一長い画卷《生々流転》が生まれるまでの葛藤や構想について、家族、そして制作者の目から語って頂いたこの対談では、横山大観記念館が所蔵する小下絵、絹本の習作、当館所蔵の初代岩野平三郎宛の書簡からその制作過程をたどりました。



### ●特別講演会「横山大観～history&stories」

【日 時】4月26日(金) 2時20分～3時30分

【場 所】講堂

【講 師】横山浩一氏  
（横山大観記念館代表理事・館長）

【参加人数】60人

横山大観のひ孫にあたる横山浩一氏による本講演会では、当時の美術の歴史をたどり、大観の生涯や作品、その交友関係などについてご紹介いただきました。

### ●パネルディスカッション 「横山大観と越前和紙の深すぎる関係」

【日 時】5月25日(土) 午後2時～3時30分

【場 所】講堂

【登壇者】佐藤志乃氏（横山大観記念館学芸員）  
岩野麻貴子氏（岩野平三郎製紙所代表取締役社長）

【司 会】佐々木美帆（当館主任）

【参加人数】63人

大観研究者と岩野製紙所4代目を迎えて大観が愛用した越前和紙について語りました。岩野平三郎が大観の依頼で漉いた当時世界最大の紙・岡大紙は今まで制作過程が不明でしたが、3代目が書き残した資料によって漉き方が明らかになりました。さらに好評にも関わらず普及しなかった和紙キャンバスとの比較で、絵絹に代わり国産画紙がここまで浸透したのは、大観が単に紙を賞賛するに終わらず、皇室への献上作に使うなど紙の地位を高める一歩踏み込んだ働きがあったからこそ歴史を変えることが出来たということを確認することができました。



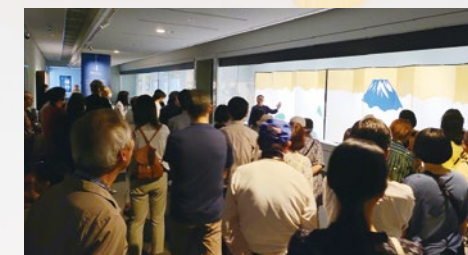
### ●担当学芸員によるギャラリートーク

【日 時】5月11日(土)、18日(土) 各回午後2時～3時

【場 所】第1～4展示室

【担 当】佐々木美帆（当館主任）

【参加人数】125人



### ●親子鑑賞会

【日 時】5月11日(土) 午前10時～11時

【場 所】第1、3～4展示室

【参加人数】12人

乳幼児やご家族と当館ボランティアスタッフがそれぞれのペースでゆったり一緒に鑑賞会を行いました。「あの遠くに見えるのは海賊船で、島に向かっていているところ」など、楽しい感想を聞くことができました。



### ●ことばのコラージュ& 紙袋作りワークショップ

【日 時】6月1日(土) 午前10時～、午後2時～  
各回2時間

【場 所】第4研修室

【参加人数】14人



# 「北陸新幹線福井・敦賀開業企画 生誕150年記念 菱田春草展 不朽の名作《落葉》誕生秘話」

[会期] 2024年 9月15日(日)～11月4日(月)

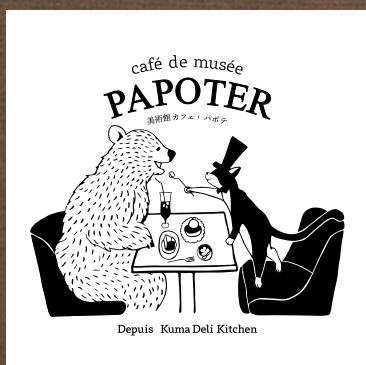
菱田春草（1874～1911）生誕150年を記念し、重要文化財《落葉》（永青文庫蔵）を含む《落葉》連作5作品を一堂に展示します。制作後115年を経てもなお新しい問いかけを我々に与え続ける本作を制作時に残された写生帳や下絵、関連作品から読み解き、不朽の名作《落葉》誕生の背景と自然観照によって新たな画境を見出した春草の芸術に迫ります。更に同時代画家の作品および、近世からは尾形光琳《槇楓図屏風》（重要文化財、東京藝術大学蔵）などを紹介することで、樹木図の系譜を辿ります。《落葉》を巡る奥深い世界をご堪能ください。



菱田春草《落葉》（重要文化財）明治42（1909）年 永青文庫蔵

New Open

## 「Café de musée PAPOTER」 オープン!



【営業時間】  
9:00～17:00

【定休日】  
不定休  
\* Instagram、  
店頭のカレンダー  
をご覧ください。



Instagram

### 寛永寺展 特別メニュー

4/26に、福井市高木中央にありますフレンチ惣菜 KumaDeli キッチンの姉妹店としてオープンいたしました。PAPOTERは、フランス語で「おしゃべりする」という意味。お友達や大切な人と一緒に、おしゃべりしながらゆったりとした時間を過ごしていただければ…と思っています。

6/21からはじまります手塚雄二先生の『雲は龍に従う』にあわせて、コラボセットをご用意いたします。パポテの名物である、ラテアートで、龍を描きます。当店自慢のスイーツと合わせてお楽しみください!



お知らせ

◎2024年6月～9月の休館日について

館内メンテナンス、展示替え等のため下記の日程は休館とさせていただきますのでご了承ください。※ は休館日です。

| 2024年 6月 June |    |    |    |    |    |    | 7月 July |    |    |    |    |    |    | 8月 August |    |    |    |    |    |    | 9月 September |    |    |    |    |    |    |
|---------------|----|----|----|----|----|----|---------|----|----|----|----|----|----|-----------|----|----|----|----|----|----|--------------|----|----|----|----|----|----|
| 日             | 月  | 火  | 水  | 木  | 金  | 土  | 日       | 月  | 火  | 水  | 木  | 金  | 土  | 日         | 月  | 火  | 水  | 木  | 金  | 土  | 日            | 月  | 火  | 水  | 木  | 金  | 土  |
|               |    |    |    |    |    | 1  |         | 1  | 2  | 3  | 4  | 5  | 6  |           |    |    |    | 1  | 2  | 3  | 1            | 2  | 3  | 4  | 5  | 6  | 7  |
| 2             | 3  | 4  | 5  | 6  | 7  | 8  | 7       | 8  | 9  | 10 | 11 | 12 | 13 | 4         | 5  | 6  | 7  | 8  | 9  | 10 | 8            | 9  | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 |
| 9             | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 14      | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 11        | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 15           | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 |
| 16            | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 21      | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 18        | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 22           | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 |
| 23            | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 28      | 29 | 30 | 31 |    |    |    | 25        | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 | 29           | 30 | 31 |    |    |    |    |
| 30            |    |    |    |    |    |    |         |    |    |    |    |    |    |           |    |    |    |    |    |    |              |    |    |    |    |    |    |



美術館のHPはこちら